

Open Com

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院

大阪厚生年金病院

<http://www.okn.gr.jp/>

大阪府がん診療拠点病院



大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者



「働きやすい病院」認定病院(第1号)

● につけ子育て支援大賞受賞

● 女性のチャレンジ支援賞(内閣府)受賞

オープンコム

No. 28
2012. 2

開放型病床をもつ開かれた病院として、地域の先生方や住民の皆様とコミュニケーションを図り、心かよう安心の医療を目指します。



浅間山

大阪厚生年金病院の建替と法人化について.....	02
大阪厚生年金病院の「地域連携パス」について	
地域連携パスについて.....	03
脳卒中 地域連携パス.....	04
大腿骨頸部骨折 地域連携パス.....	05
肝疾患インターフェロン 地域連携パス.....	06
糖尿病 地域連携パス.....	07
初期臨床研修を終えるにあたって.....	08~09

かかりつけ医さんこんにちは.....	10~11
大草整形外科	
内科クリニック大西 循環器科消化器科	
福井内科胃腸科クリニック	
やまなかクリニック	
トピックス.....	12
「がん診療地域連携パス」説明会が開催されました	
「大阪厚生年金病院 母子医療センター懇談会」開催報告	
患者相談室 Open Wind.....	13
当病院の活動内容を掲載している記事.....	14~17
各種教室・公開講座・院内の公開講座.....	18~19

大阪厚生年金病院の建替と法人化について

院長 山崎 芳郎

昨年は、戦後最大の自然災害となった東日本大震災をはじめ異常気象に伴う想定外の天災に相次いで見舞われた我が国ですが、大阪厚生年金病院にとっても激動の一年でした。

即ち、4月末に長年の夢であった耐震整備に伴う病院建替工事が厚労省から許可されたのに引き続き、6月には一昨年一旦は廃案となった「独立行政法人 地域医療機能推進機構」への移行法案が成立し、厚生年金病院の整理合理化に一応の終止符がうたれました。

この広報誌の読者におかれましては、ある程度上記情報を周知されていると思いますが、新年を迎え新病院の基盤作り元年にあたり、今後も刻々と変化する周辺環境への対応には皆様のご理解とご協力が不可欠と考え、現時点での進捗状況を以下に述べさせていただきます。

1) 阪神淡路大震災時には壁の亀裂程度で耐えることが出来た当院も、老朽化著しい築60年の箇所を含め震度6強で倒壊する危険性が以前から指摘されていました。厚労省への申請から約1年を経過した現在、登山に例えればようやく1合目に到達した感じです。現在は設計事務所と基本設計を検討中であり、今後実施設計に引き続き今秋の工事着工から約4年をかけてグランドオープンの実現を目指しています。

患者さんに対する日常診療への負の影響を最小限に留めつつ、現地建替（現駐車場に新病院を建設）を実行せざるを得ない工事計画ですので、患者さんに限らず周辺住民の皆様にも多大なご迷惑をかけると思いますがご容赦下さい。

2) 法案公布後3年以内に全国の7厚生年金病院と51社会保険病院を新機構へ円滑に改組すべく、連絡協議会が毎月中央にて開催されています。歴史的素地の異なる2団体の意思統一には頻回の意見交換が必要ですが、新機構の基本的使命である「地域住民の健康面におけるQOL向上を目指した地域完結型医療」に関しては普遍的共通認識であり、当院における従前からの役割・機能に大きな変更はありません。即ち、大阪市西部保健医療圏における地域医療支援病院・大阪府がん診療拠点病院・救急指定病院として4疾病5事業を中心にその責務を果たすと共に周辺の機能分担医療機関との切れ目のない連携強化の更なる必要性を痛感しています。

病院の理念・基本方針・患者さんの権利と責務

(1) 病院の理念

1. 高度で安全な医療を目指します。
2. 患者さんの立場に立って、心温まるケアに専念します。
3. 近隣のかかりつけ医と連携し、地域の医療と福祉を推進します。
4. 職員全員が働きやすい職場づくりをすすめます。

(2) 地域医療支援病院としての基本方針

1. 小児救急を含む24時間救急医療をおこなっています。
2. 母子医療センターとして妊娠・分娩と新生児・未熟児の医療に24時間体制で迅速かつ確実に対応します。
3. 各部位の癌に対して、内科的・外科的に積極的な集学的治療をおこなっています。
4. 内視鏡、内視鏡下手術などを用いた低侵襲かつ高度な治療とともに外来化学療法や緩和医療チームにも力を入れています。
5. 慢性疾患に対しても集学的な治療体制を整え、患者教育にも熱心です。
6. 脊椎・四肢・視覚・聴覚・皮膚等の疾患に対して、専門性の高い手術的治療を麻酔科、ICU、放射線科等とチームを組んでおこなっています。
7. 麻痺・痛み等に対して、各診療科が協力して治療にあたります。
8. 生活習慣病の予防や癌の早期発見についても各診療科が協力して診療にあたります。
9. 各診療科での診療は地域や関連する診療所や病院との連携を大切におこなっています。

10. 地域の医療従事者と合同で医療の質の向上を目的とした研修会等をおこなっています。
11. 職員の子育て支援にも積極的に取り組んでいます。

(3) 患者さんの権利と責務

1. 患者さんは、誰でも当院でおこないうる最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 病名と治療方法など十分な説明を聞いた上で、患者さんは、自分の意思で治療を受け入れるかどうかを決めることができます。
3. 治療の途中でも、患者さんは、他の医師に意見（セカンドオピニオン）を求めることができます。
4. 患者さんの病名その他の個人情報保護されます。又、病名や検査結果など必要とする情報は患者さんによる適切な手続き後にいつでも求めることができます。
5. 全ての患者さんが適切な医療を受けていただく為に、当院の規定・規則を守り他の患者さんの診療に支障となる迷惑行為を慎み、医療者と協力して療養する責務があります。

看護部の理念

患者さんの生命の尊厳と権利を尊重し、
生活の質を高める看護を実践するとともに、
人を癒し、人を活かす職場づくりに努めます。

地域連携パスについて

外科主任部長 弓場 健義

地域連携クリティカルパス（以下、パス）とは、

- 1) 急性期病院から回復期病院を経て早期に自宅に帰れるような診療計画を作成し、治療を受ける全ての医療機関で共有して用いるもの。
- 2) 診療にあたる複数の医療機関が、役割分担を含め、あらかじめ診療内容を患者に提示・説明することにより、患者が安心して医療を受けることができるようにするもの。
- 3) 内容としては、施設ごとの診療内容と治療経過、最終ゴール等を診療計画として明示。
- 4) 以上により、医療連携体制に基づく地域完結型医療を具体的に実現する。

というものです。

当院は2007年12月に地域医療支援病院の指定を受けており、すでに数種類の地域連携パスを導入、運用しています。2008年5月に脳卒中地域連携パスの導入（2010年度36名運用）を皮切りに、2009年7月に大腿骨頸部骨折の連携パス（2010年度13名運用）、2010年4月に肝疾患（肝炎）の連携パス（2010年度7名運用）、2011年4月に

糖尿病の連携パスが導入され、運用されています。今後、運用が拡大されていく予定です。

また、当院は2010年4月に大阪府が指定する「大阪府がん診療拠点病院」に指定されています。「がん診療拠点病院」とは、患者さんが、がん罹患したときに質の高いがん医療を受けることのできる医療機関を選択できるよう、わが国に多い5つのがん（肺がん、胃がん、肝がん、大腸がん、乳がん）の診療等に関して、がん診療状況等を公開し、がん医療水準の向上に努めることとなっています。この一環として「がん診療地域連携パス」を5大がん（肺、胃、肝、大腸、乳）＋前立腺がんを導入、運用することが求められております。

今回、当院では2011年10月22日に地域の連携医の皆さんに「がん診療地域連携パスについて」の説明会を開かせていただき、「がん診療地域連携パス」の導入、運用のスタートとさせていただきます。今後、「がん診療地域連携パス」を運用し、地域連携をより一層密にし、がん患者さんの利便性を図り、がん医療水準の向上に努めるところであります。



脳卒中 地域連携パス [脳卒中センター]

(2008 年 7 月 1 日より運用開始)

■ 脳卒中地域連携パスとは

急性期から回復期、そして維持期まで脳卒中の治療内容やリハビリテーションの内容を途切れることなく、継続することを目的としている、いわゆる一方向性のパスのことです。

大阪脳卒中地域連携ネットワークは、2008 年 2 月に当院や大阪市立総合医療センター、森之宮病院、北野病院などが中心となって北大阪脳卒中地域連携ネットワークとして活動を始めました。

当初は大阪市の北部を中心に活動していましたが、2010 年に大阪府立急性期医療センターが参加するに及んで「北」の文字が取れ、大阪脳卒中地域連携ネットワークとして下記に示す 70 病院・医院が参加しています。

(脳神経外科 脳卒中担当部長 脳卒中センター長 藤田 敏晃)

■ 患者さんのメリット

脳卒中はそのネーミングのごとく、突然襲って来てこれまでの生活を 180 度ひっくり返してしまう非常に怖い疾患です。「脳卒中地域連携パス」は複数の病院が連携して、長期間にわたり「脳卒中」患者さんの診療、治療にあたるシステムです。

患者さんが生活する地域で、多数の病院と診療所と行政が連携して、患者さんが一日も早く社会復帰、家庭内復帰できるように療養のサポートもするシステムです。

医療機関の方へ

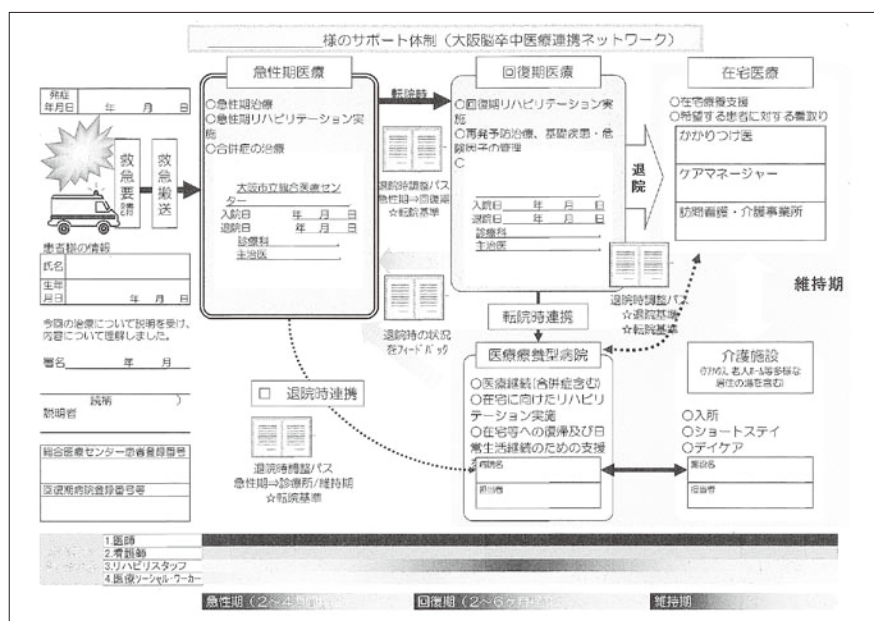
現在、大阪市の主要な急性期病院・回復期リハビリテーション病院のほとんどがこのネットワークに参加しています。

まだ参加されていないご施設で参加をご希望の場合は、下記の連携病院にご相談ください。

■ 連携病院

急性期病院	大阪市立総合医療センター、大阪厚生年金病院、大阪赤十字病院、大阪府済生会野江病院、加納総合病院、関西電力病院、北野病院、住友病院、大阪警察病院、淀川キリスト教病院、大手前病院、大阪医療センター、富永病院、大阪府立急性期総合医療センター、日生病院、矢木脳神経外科病院
回復期リハビリテーション病院	茨木医誠会病院、森之宮病院、吉米会病院、協和会病院、千里中央病院、辻外科リハビリテーション病院、東大阪病院、南港病院、北大阪病院、北大阪警察病院、摂津医誠会病院、千里リハビリテーション病院、大阪鉄道病院、コープおおさか病院、関西リハビリテーション病院、協和マリナホスピタル、西宮協立リハビリテーション病院、行岡病院、水無瀬病院、聖和病院、早石病院、牧リハビリテーション病院、朋愛病院、鶴見緑地病院、加納総合病院、本田病院、わかさ亀岡リハビリテーション病院、浪速生野病院、東住吉森本リハビリテーション病院、西淀病院、ボパース記念病院
維持期病院	ツチ病院、白山病院、芥川病院、あかがわ生協診療所、今津生協診療所、うえに生協診療所、弘善会クリニック、小竹クリニック、田島クリニック、チョウクリニック、帝塚山病院、篤友会リハビリテーションクリニック、なかむら内科、中本病院、中山クリニック、西村診療所、のえ生協診療所、東大阪病院附属クリニック、福島脳外科クリニック、まった生協診療所、山本医院、よつ葉クリニック、伊東内科クリニック

■ 患者さん用のパス



大腿骨頸部骨折 地域連携パス

(2009年7月より運用開始)

国の医療計画の見直しという社会動向の中で、地域連携パスを使用して医療機関間で医療情報を共有することにより、効率かつ高質な医療を目指すことは医療費削減のためにも有効であるとされています。

クリニカルパスとは、診療の標準化・適正化とEBMの促進により患者満足度を向上させ、業務の効率化とチーム医療の向上による在院日数の短縮とコスト削減を目的としています。さらにパスには達成目標（退院基準・在院日数）が明示され、その目標を達成するためのケア内容が設定されています。

地域連携クリニカルパス（地域連携パス）も上記の点を加味したもので、複数の連携病院が共通の地域連携パスを使用して患者さんを治療していこうとするものです。地域連携パスを作成・実施するに当たって重要なことは、①各施設間の治療方針と達成目標の一致、②施設ごとの複数パスを作成する必要性の検討、③評価・ケア項目の再検討、④連携連絡表の作成、⑤評価表（バリエーション・ADL）の作成、⑥医療情報の共有、⑦定期的な情報交換会の開催、⑧バリエーションの評価、⑨達成目標・適応患者の見直し、⑩連携パスの

修正などです。

2006年4月の診療報酬改正により、地域連携パスを用いた特定疾患の治療に対して計画管理病院と連携保険医療機関に点数が算定可能となりました。その第1号疾患に指定されたのが大腿骨頸部骨折（骨接合術・人工骨頭置換術）です。

本邦では年間17万件以上の大腿骨頸部骨折が発生すると推定され、大多数を高齢者が占めています。早期に治療しなければ、肺炎、認知症、廃用性の骨筋萎縮、褥瘡、尿路感染症などを併発し、機能予後だけでなく生命予後も低下するリスクがあります。そのため、早期治療、早期離床、早期リハビリ、早期回復が治療の原則となります。

当院では、2009年から大腿骨頸部骨折の地域連携パスを導入しております。今後も地域連携パスを有効に利用し、大腿骨頸部骨折に対する高質で円滑な治療が可能になるように微力ながら尽力していきたいと考えております。

(整形外科 人工関節担当部長 中田 活也)

患者さんへのお願い 当院での 整形外科初診・再診 の取り扱いについて



(地域医療連絡室)
TEL (06) 6441-5451 (代)
AM 9:00 ~ PM 5:00
(土日祝日を除く)

当院では、**整形外科（リウマチ科・スポーツ医学科を含む）の初診は他医療機関からの紹介患者さん限定**とさせていただきます。一度通院していた患者さんも治療が終了して次回の予約がない患者さんは初診となり、他医療機関からの紹介が必要です。

受診ご希望の際は、先ずかかりつけ医の先生にご相談いただき、先生を通じてご予約いただきますようお願いいたします。

また、紹介状をお持ちであれば患者さんからの予約もお取りできますので下記までご連絡ください。

なお、予約をされていない方は、紹介状をお持ちでも診療開始がかなり遅れることがありますので、ご了承くださいませようお願いいたします。**再診も、初診と同様にすべて予約制**です。

診察室が予約の患者さんで常時ふさがっているため、紹介状なしや予約なしに受診された場合、診察室や診察医師の手配ができませんのでご了承ください。

糖尿病 地域連携パス

(2011年4月1日より運用開始)

■ 糖尿病地域連携パスとは

糖尿病の治療目標である合併症進展抑制を実現するためには、まず、通院を継続することが大切です。

この点では、アクセスの良い「かかりつけ医（診療所）」で、日常の診療を受けていただくことが望ましいです。一方、「病院」では、検査機器やいろいろな職種のスタッフが揃っています。当院では、日本糖尿病協会作成の「糖尿病連携手帳」を利用して患者さんの診療情報を共有し、かかりつけ医と病院が役割分担しながら、地域ぐるみで糖尿病患者さんの長期間にわたる診療をお手伝いさせていただきます。

(内科 糖尿病・内分泌・人間ドック担当部長 宮田 哲)

■ 糖尿病連携パス Q & A

Q1：病院との縁が切れませんか？

A：いいえ。むしろ、主治医がかかりつけ医と病院主治医の両者に増えるという感じです。

「糖尿病連携手帳」と薬局でもらえる「お薬手帳」をご持参いただければ、通常の紹介状よりも詳しい患者さんの情報が伝わりますので、より安心です。

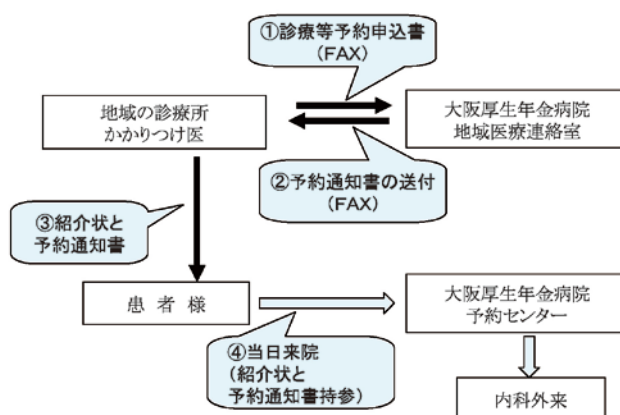
Q2：どの程度の頻度で病院に通うことになりますか？

A：基本は1年に1回程度ですが、かかりつけ医のご判断によります。安定しなければ数カ月に1回になることもありますし、治療方針が定まるまで、しばらく継続して病院で診させていただくこともあります。

■ 診療所と病院の連携の流れ

(1) 最初の紹介時の流れ（医療機関の方へ）

- ①かかりつけ医より「診療等予約申込書」を地域医療連絡室にFAXでお送りください。
- ②当院より予約日時の入った「予約通知書」をFAXで返信いたします。
- ③患者さんに「診療情報提供書（紹介状）」と「予約通知書」をお渡しください。
- ④当日、患者さんはそれらを持参し、当院の「予約センター」へお越しください。



(2) 連携開始後の流れ

【普段の診療】

- ①血糖コントロール
 - ②体重の管理
 - ③血圧の管理
 - ④脂質の管理
 - ⑤一般的血液検査（肝・腎機能含む）
 - ⑥尿検査の評価（尿蛋白含む）
- など



【病院でさせていただくこと】

- ①診断、病態評価
- ②血糖コントロール悪化時の治療方針検討
- ③低血糖の頻度が多くなった時の治療方針検討
- ④インスリンやGLP-1 受容体作動薬の導入
 - (1)内因性インスリン分泌能の評価
 - (2)注射および自己血糖測定の手技指導など
- ⑤合併症の評価（ABI, CV_{FR}, 神経伝導速度など）
- ⑥フットケア
- ⑦栄養指導
- ⑧教育入院 など

初期臨床研修を終えるにあたって

初期臨床研修 修了者をご紹介します（五十音順）



岩橋 徹 医師（大阪大学出身）

大阪厚生年金病院で初期研修の2年間を学ばせて頂きました。研修を通して一番痛感した事は、医療は様々な業種の人々が力を合わせて成り立たせている、という事でした。来年度からは志望科のレジデントとしてのスタートとなりますが、医療を支える柱の1本となれるよう、努力を続けて参りたいと思います。



加藤 幹那 医師（名古屋市立大学出身）

2年間の研修期間中、ローテートしている科の上級医の先生以外にも、これまでにローテートした科やローテート予定の無い科の先生方も丁寧に指導してくださったことが非常に印象深かったです。また、上級医以外にもコメディカルの方々も様々な面で指導していただき、とても勉強になりました。同期にも恵まれ、とても良い研修ができたと思います。今後もこの経験を生かして頑張りたいと思います。ありがとうございました。



加藤 穰 医師（京都府立医科大学出身）

当院に携わる全ての職員の方々が良い医療を提供しようと毎日頑張っておられ、そういった環境で医師としての最初の2年間を過ごせたことは私にとってとても幸せなことでした。また、優秀な同期と巡り合えたことも一生の宝となりました。この経験を生かしこの先も頑張っていきたいと思います。



窪田 慶一 医師（大阪大学出身）

初期研修では熱心な指導医の先生方、志の高い同期、スタッフの方々、患者さん一人ひとりに支えられ、充実した2年間を過ごすことができました。今後もこの2年間で学んだ事を無駄にしないよう努力していきたいと思います。



酒井 晋介 医師（大阪大学出身）

当院での初期臨床研修は、振り返ってみるとあっという間に過ぎていきました。濃縮された2年間で、熱心な上級医・指導医の先生方、たくさんのコメディカルの方々に支えられながら、同期と切磋琢磨して充実した日々を過ごさせて頂きました。豊富な症例からたくさんのことを学ばせて頂き、まだまだ発展途上ですが少しずつ成長できたと感謝しています。学んだことを皆様のお役に立てるようこれからも精進していきたいと思います。



谷 哲郎 医師（川崎医科大学出身）

初期研修では全く何もできなかった自分を指導医、コメディカルの皆さんが支えてくださいました。今自分にできることを考えながら2年間過ごしてきて少しは成長ができた気がします。皆さんから教わったことを今度は自分が教えられるように頑張っていきたいと思います。



長浦 加奈子 医師（大阪医科大学出身）

大阪厚生年金病院は、先生方をはじめコメディカルの方々も優しくて一生懸命な方ばかりで、家族みたいに温かい病院でした。そしていつも傍にいて支えてくれた同期、ベッドサイドでいろいろな話を聞かせてくださった患者さん、周りの人達に恵まれ、とても充実した研修生活を送ることが出来ました。今後もこの経験を生かし、努力していきたいと思います。2年間お世話になり、本当にありがとうございました。



日比野 千尋 医師（大阪市立大学出身）

2年間の研修を通して多くの症例を経験することができ、また熱心な指導医の先生方 やコメディカルの皆様から様々なことを教えていただきました。研修医を優しく見守ってくださる温かい雰囲気の中研修できたことに大変感謝しています。この研修を基礎に来年からは専門科で精進していきたいと思います。



榎本 恵理子 医師（大阪市立大学出身）

私はこの春、当院での2年間の初期臨床研修を終えました。優れた指導医・同期・後輩に囲まれて、日々刺激を受けながら少しずつ成長できたと思います。またコメディカルの方々にも非常に助けられ、多くの人々の協力の上に医療が成り立っていることを知りました。4月からは後期研修が始まりますが、今までに学んだことを生かして引き続き研鑽を積みしたいと思います。ありがとうございました。



向井 隆 医師（大阪大学出身）

熱心な指導医の先生方をはじめ、心やさしいコメディカルの皆様に支えられ、充実した研修を送ることができました。本当にありがとうございました。また、優秀なすばらしい同期の仲間達と研修できたことは本当に幸運でした。

この2年間の経験を生かして、少しでも年金病院に恩返しをし、後輩達に還元できるよう精進していきたいと思います。



渡邊 隆弘 医師（大阪大学出身）

大阪大学とのたすきがけで二年目を当院で研修させて頂きました。大学での研修とはまた異なり、市の中核病院ならではの多岐に亘る疾患を経験することが出来ました。特に救急外来当直では各科の先生方に御教授頂き、医師を続ける上で貴重な財産になったと思います。これからも当院で研修したことに恥じぬ様、努めさせて頂きます。

かかりつけ医さん こんにちは

大草整形外科

院長 大草 良夫

〒554-0014 大阪市此花区四貫島1-5-6 児島建設ビル 2階

TEL 06-6467-7676

FAX 06-6467-7677

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:00	○	○	○	—	○	○
15:00~18:00	○	○	○	—	○	—



●阪神電車なんば線「千鳥橋」駅下車、徒歩 1 分

診療科目
整形外科/リハビリテーション科/リウマチ科

往診
無

休診日
木曜・土曜午後・日曜・祝日

駐車場 無



大草先生（左端）とスタッフの皆さん



当院は 2006 年 6 月に此花区四貫島で開院し、物療を中心に、親切的な整形外科治療を心がけています。私は以前、大阪市立北市民病院に勤務し、脊椎外科を中心に診療しておりました。

医院は、2009 年 7 月 6 日に起こった「此花区のパチンコ店放火事件」の児島建設ビル 2F にあります。その際には皆様にご心配、ご不自由をおかけしまして、申し訳ありませんでした。

今後も、信頼される医院となるように努力していきます。よろしくお願いいたします。

内科クリニック大西 循環器科消化器科

院長 大西 公二

〒554-0014 大阪市此花区四貫島1-5-11 セントビル 3階

TEL 06-6464-9330

FAX 06-6464-9331

ホームページ <http://clinic-1.jp/web/oc/pc/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	—



●阪神なんば線「千鳥橋」駅下車、徒歩 1 分

診療科目
内科/循環器科/消化器科

往診
有

休診日
水曜午後・土曜午後・日曜・祝日

駐車場 無



大西先生（中央）とスタッフの皆さん



当院は 2006 年 9 月此花区四貫島に開院し、家庭医として地域医療に貢献できるよう微力ながら日々頑張っております。

大阪厚生年金病院は地域の信頼できる基幹病院であり、特に循環器ホットラインでは速やかに受け入れていただき大変感謝しています。

これからも病診連携を密にしていければと思います。

今後ともよろしくお願いいたします。

病診連携で日頃お世話になっている
かかりつけ医さんをご紹介します。

福井内科胃腸科クリニック

院長 福井 信

〒553-0003 大阪市福島区福島7-19-11

TEL 06-6442-8165

FAX 06-6442-8166

ホームページ http://www.myclinic.ne.jp/fukui_cl/pc/

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00~12:00	○	○	○	○	—	○	○※
16:30~19:00	○	○	○	○	—	○	—

※日曜日は予約診療のみです。
お電話、FAXにてご連絡ください。



●JR環状線「福島」駅下車、徒歩5分

診療科目
内科/胃腸科
往診
無
休診日
木曜・土曜午後・日曜午後・祝日
駐車場
無



福井先生（左端）とスタッフの皆さん



当院は、2005年8月に福島7丁目で開院いたしました。消化器内視鏡を用いた診断や治療を中心に研鑽した経験を踏まえ、内視鏡技師資格を持つスタッフとともに患者さんに優しい内視鏡検査・治療をこころがけ、日々診療しております。

大阪厚生年金病院との医療連携では消化器ガンの内視鏡治療や、手術のみならず他の急性期疾患も快く治療していただき、患者様ご家族も大変喜んでおられます。

今後も地域医療に貢献できるよう努力して参りますので、よろしくお願いいたします。

やまなかクリニック

院長 山中 幹基

〒553-0001 大阪市福島区海老江2-1-4
アーバネックス野田阪神駅前 1F

TEL 06-6343-8700

FAX 06-6343-8707

ホームページ <http://www.yamanakaclinic.com/>

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:30~13:00	○	○	○	○※	○	○
16:00~19:00	○	○	—	○	○	—

※水曜、土曜は9:00~12:30



●地下鉄千日前線「野田阪神」駅、JR東西線「海老江」駅、阪神本線「野田」駅下車、徒歩1分

診療科目
泌尿器科
往診
有
休診日
水曜午後・土曜午後・日曜・祝日
駐車場
無



山中先生（左端）とスタッフの皆さん



2009年5月に野田阪神駅すぐの地に開院しました。福島区内では初めての泌尿器科専門医によるクリニックとのことで、ありがたいことに地域の先生方から御紹介をいただいています。

大阪厚生年金病院との病診連携においては、普段より大変お世話になっています。

入院加療・手術のため紹介させていただく患者さんにおいても貴院への信頼がとても厚いことを日頃から感じています。これからも地域医療に更なる貢献をしていく所存でありますので、益々の連携をよろしくお願い申し上げます。

「がん診療地域連携パス」説明会が開催されました



2011年10月22日(土)午後4時よりホテル阪神にて「がん診療地域連携パス」説明会が開催され、院外から24施設の参加がありました。司会の弓場健義 外科部長の進行のもと、山崎芳郎 院長挨拶、事務部門より細川博嗣 医事課長から連携の手続きの説明の後、乳がん：塚本文音 乳腺・内分泌外科部長、胃がん：赤丸祐介 内視鏡外科担当部長、大腸がん：藤井眞 大腸・肛門疾患外科担当部長、肝がん：伊藤敏文 内科消化器担当部長、肺がん：岩崎輝夫 肺腫瘍

外科担当部長、前立腺がん：藤本宜正 泌尿器科部長より連携パスの説明がありました。

その後、市立堺病院外科部長・今村博司先生より「胃癌の地域連携パス運用について」と題して市立堺病院での胃癌の連携パス作成時のご苦労から、現在のように多くの連携施設を持つようになった経緯、工夫などについて分かりやすくご講演をいただきました。

(地域医療連絡室 小川 公明)



「大阪厚生年金病院 母子医療センター懇談会」開催報告

平成23年7月7日(木)リーガロイヤルホテルにおいて、「大阪厚生年金病院母子医療センター懇談会」が開催されました。

「母子医療センター」が開設され4年、多くの先生方にご協力していただき、地域周産期医療の向上を目指し、職員一同努力してまいりました。

山崎芳郎 院長挨拶の後、小川晴幾 産婦人科部長(母子医療副センター長)より「産科オープンシステムについて」、小児科 遠藤健次医師より「2010年度NICU実績報告」について、患者へのアンケート結果も含めて報告をおこないました。

大阪新生児相互援助システム(NMCS)会長 船戸正久先生には、現状の医療の状況などをお話いただき、その後、乾杯により和やかに懇談会が始まりました。

また、清野佳紀 名誉院長より挨拶の後、Womens Clinic 千葉産婦人科院長 千葉喜英先生、ねね助産院(助産所部会会長) 芦田千恵美先生をはじめ、先生方より貴重なお言葉をいただくことができました。

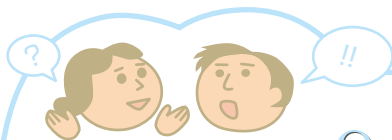
懇談会では、周産期医療の大学関係者、産科オープンシステム登録医・登録助産師及び小児連携医療機関の先生方が当院職員と盛んに意見交換をおこない、田川哲三 副院長(母子医療センター長)の挨拶をもって閉会しました。

これからもよりよい医療を提供し、地域の医療機関とスムーズに連携をおこなえるよう、努力していきたいと思っております。

今後ともご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

(地域医療連絡室 北山 幸子)





患者相談室

Open Win/d より
オープン・ウィンド

本年4月から本年9月まで投書箱、「みなさまの声」に寄せられた件数は152件で、患者相談室に寄せられた相談等は全部で178件です。
その中の苦情及びご意見の一部を紹介します。

Q

階段の掃除をしていた人。患者が通ろうとしても自分の仕事を優先していました。
患者さんが通り終わってから、自分の仕事をするべきじゃないでしょうか？

A

患者様が最優先である事を、再度全員に説明し、徹底をおこないました。エレベーター・階段・廊下等は、特に注意をするように指導しました。貴重なご意見ありがとうございました。

Q

採血室中待合の配電盤がソファの側にあるので、立ち上がり時に、配電盤の角に頭をうつ可能性があります。クッション材をあてるなどされてはどうでしょうか？

A

ご指摘いただきましたように、患者さんの安全性を高めるため必要と考え、早速、配電盤の外側四方をラバーで貼る措置を講じました。貴重なご意見ありがとうございました。

Q

内科中待合で、血圧測定をしました。終わって用紙が印刷されてきますが、その時、音声で値が発せられます。ソファに他の患者の方々がいらっしゃいます。音声で他人に聞こえてしまうのは、どうにかありませんでしょうか。音声を止めることができないのでしょうか？

A

自動血圧計を全て調べた所、内科外来の2台のうち1台だけが、測定値を発声する設定のものでした。音声を切ることはできませんが、音量を最小に設定しなおしましたので、回りの方には聞こえないと思います。貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございました。

Q

予約を取っているにもかかわらず、毎回診察まで2時間待ちでは予約の意味がありません。（仕事に行けません）こんなに遅れるのであれば、予約（1人に要する時間）のタイミングを考えて欲しいです。30分前後の待ち時間が限界です。

A

ご指摘の通り、待ち時間が1～2時間という日がありますが、外来は、その日の予約患者数、患者状態などにより、一人の診察時間が異なります。できる限り待ち時間を短くできるように、スムーズに診察がおこなえるように、外来においても努力している次第です。お仕事等のご都合などある場合は、その旨お伝えくださいますようお願いいたします。今後も努力してまいります。



《重要なお知らせ》 **病院敷地内 全面禁煙**

当院は病院敷地内全面禁煙です。

各種教室

マタニティクラス

問 申 大阪厚生年金病院（産婦人科病棟）
☎ 06-6441-5451（代）

- 開催日／毎月第1、2、3水曜日、第4金曜日
- 時間／9:30～11:30
- 費用／1,000円（3回分）
- 場所／当院2階 第1会議室
- 13:30～15:30
- 予約制

腎臓病教室

問 大阪厚生年金病院（血液浄化センター）
☎ 06-6441-5451（内線2667）

- 時間／13:30～14:30
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- 場所／当院2階 第1会議室
- ※4月と8月は休会：開催なしです。
- 費用／無料
- ※内容に若干変更があるかもしれません。

開催日	テーマ	対象	担当
3月22日（木）	透析療法について ①血液透析の実際 ②腹膜透析の実際	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	医師 （看護師）
5月24日（木）	慢性腎不全の食事	主に慢性腎不全患者さん（保存期）	管理栄養士
6月28日（木）	腎機能が低下しているといわれたら……	慢性腎不全の患者さん（Cr2mg/dl以上）	医師
7月26日（木）	腎臓病と福祉制度（社会保障制度）	保存期、透析導入患者さん	M S W

レッツ！糖尿病教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

- 時間／14:00～16:00
（受付は13:45から）
- 場所／当院2階 第1会議室
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。

※1月と8月は休講

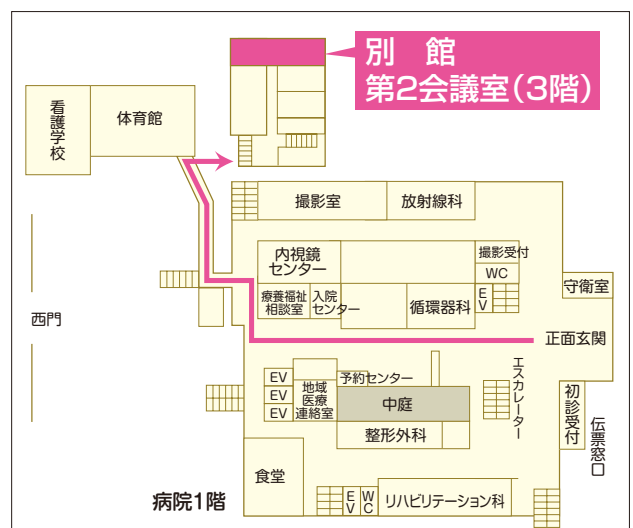
注）5月は第2月曜日に開催します。

開催日	テーマ	担当
3月1日（木）	災害に備える……… ～災害が起こったときどうする？何を準備しておく？～	医師 看護師 薬剤師
4月5日（木）	慢性合併症は血管の障害……… 合併症の検査……… 糖尿病の飲み薬・注射について………	医師 検査技師 薬剤師
5月7日（月）	“糖尿病を楽しみながら学べる”……… カンパセーションマップっていうのをちょっとやってみましょう!!…	看護師 管理栄養士
6月7日（木）	糖尿病の眼の合併症……… 口と体の健康（口からアンチエイジング）……… 食事療法の実際～食品交換表を使って～………	眼科医師 歯科衛生士 管理栄養士
7月5日（木）	糖尿病腎症……… 透析の実際……… 血圧・脂質のくすり………	医師 看護師 薬剤師

禁煙教室

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線2274）

- 開催日／毎月第1、3水曜日（4月の第3水曜日は休講）
- 時間／13:00～14:00
- 場所／当院別館 第2会議室（3階）※
※別館第2会議室（3階）は、右記アクセス図をご参照ください。
- 費用／無料
- 方法／事前申し込み不要、直接お越しください。
- ※4月以降は場所が「看護学校1階会議室」に変更となります。
（アクセス図は院内でご確認ください。）



公開講座

どなたでも参加できます

消化器病懇話会

問 大阪厚生年金病院（内科外来）
☎ 06-6441-5451（内線 2274）

（年 5 回開催予定）

※ 4 月以降の各開催日、テーマなどについては確定次第、
院内に掲示いたします。

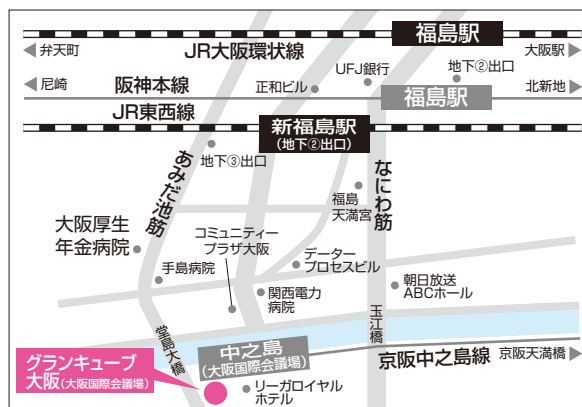
- 日 程／3 月 17 日（土）
- 時 間／14：00～16：00

- 場 所／当院 2 階 第 1 会議室
- テーマ／肝硬変の管理・治療
- 担 当／伊藤部長
- 費 用／無 料
- 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。

第16回大阪厚生年金病院 股関節教室

問 大阪厚生年金病院予約センター
☎ 06-6441-5451（内線 2153）

- 日 程／6 月 10 日（日）
 - 時 間／13：30～16：00（受付開始は 13：00 から）
 - 場 所／グランキューブ大阪 10F（1003 会議室）
※ グランキューブ大阪は、右記アクセス図をご参照ください。
 - テーマ／医師・看護師・理学療法士が股関節の疑問にお答えします。
 - 講演者／中田活也（当院整形外科人工関節担当部長）、
看護師・理学療法士
 - 費 用／無 料
 - 方 法／当院 1 階予約センター窓口で事前にお申し込みください。
- ※ 申し込み受付は 3 月 1 日（木）からです。
受付時間：平日 8：30～17：15



院内の公開講座

対象：医療従事者

院内の公開症例検討会

問 大阪厚生年金病院（地域医療連絡室）
☎ 06-6441-5463

名 称	日 時	場 所
乳腺疾患カンファレンス	第 1・3 水曜日 17：30～19：00	2 階 第 2 会議室
手の外科診療症例検討会	第 1 金曜日 19：00～21：00	2 階 第 1 会議室
脳卒中カンファレンス	毎週火曜日 17：00～18：30	4 階 カンファレンス室
婦人科腫瘍合同症例検討会	第 4 木曜日 17：00～18：00	2 階 第 2 会議室
臨床病理検討会 (CPC)	毎月最終水曜日 17：30～18：30	看護学校視聴覚室*

※ 看護学校は、下記アクセス図をご参照ください。

院内でおこなわれる症例検討会であり、緊急手術や学会により中止になることがあります。恐縮ですが、開催日の 1 週間以内に地域医療連絡室（TEL 06-6441-5463）にご確認ください。

公開講演会

問 大阪厚生年金病院（看護部：田中）
☎ 06-6441-5451（代表）

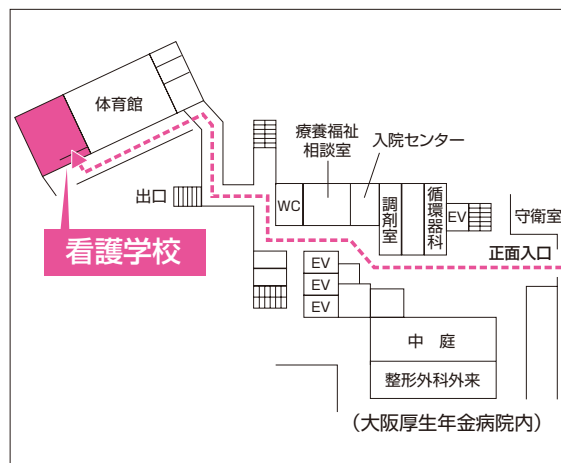
- 場 所／看護学校視聴覚室 ※ 看護学校は、右記アクセス図をご参照ください。
 - 費 用／無 料
 - 方 法／事前申し込み不要、直接お越しください。
 - 対 象／看護師、その他医療従事者
- ※ 今後の開催予定は確定次第、当院ホームページに掲載します。
（<http://www.okn.gr.jp/>）

新人看護師コアレクチャー

- 4・5・6 月に計 8 回（時間は 3 月にホームページに掲載します）
- 場 所／看護学校視聴覚室 ※ 看護学校は、右記アクセス図をご参照ください。

新人看護職員研修 受講者募集

研修参加を希望される方は当院ホームページ「新人看護職員研修プログラム」をご覧ください。



問 は問い合わせ 申 は申し込みを表しています

外来診療 受付時間

8:30～11:30 (土・日・祝日を除く)

初診の方は、「紹介状」をお持ちの上、かかりつけ医の先生から初診予約をしてお待ちください。整形外科は紹介状と、予約なしでは受診できません。

一般病棟 面会時間

12:00～21:00 平日 (月～金)

10:00～21:00 土・日・祝日



かかりつけ医の先生専用 診療・検査予約先

患者さんからの FAX お申し込みはできません。患者さんはかかりつけ医の先生を通してご予約ください。

地域医療連絡室 (診察予約) (受付時間 8:30～19:30)

FAX (06) 6441-0512 TEL (06) 6441-5463 (直通)

予約センター (検査予約) (受付時間 8:30～17:00)

FAX (06) 6459-4599 TEL (06) 6441-5451 (内線2153)

診療科等一覧

- 救急科/プライマリケア 教育研修センター
- 内 科
- 神経精神科
- 神経内科
- 循環器内科
- 小児科
- 外 科
- 乳腺・内分泌外科
- 整形外科
- リウマチ科
- スポーツ医学センター
- 形成外科
- 脳神経外科
- 心臓血管外科
- 皮膚科
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 眼 科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 麻酔科
- リハビリテーション科
- 歯科口腔外科
- 病理科
- 内視鏡センター
- 女性医師外来
- 女性がん検診
- 禁煙外来
- 集中治療部

※各科の専門など詳細は<http://www.okn.gr.jp/>でご覧になれます。

※診療内容、専門外来に関するお問い合わせは直接各科外来にお願いします。

リウマチ科

問 整形外科外来
TEL (06) 6441-5451 (内線2109)

最新の薬物療法から脊椎・関節手術まで患者さんの状態に応じて幅広く対応しています。
(診療日) 要紹介・予約制: 初診 (月曜日)、再診 (月・火・木・金曜日)

集中治療部 (ICU)

大手術後、院内重症患者さんを集中的に治療する部門です。
救急部と連携して脳・心疾患・外傷の救急患者さん等を受け入れ、治療しています。

救急科

問 TEL (06) 6441-5451 (代)

脳・心血管手術を含め、広く救急患者さんを受け付け、24 時間手術可能です。
小児の急患も受け付けます。

内視鏡センター

問 TEL (06) 6441-5451 (内線2191)

消化管の癌やポリープなどの早期発見、早期治療 (内視鏡的手術) を目的としています。

申 かかりつけ医の先生から FAX、またはお電話にてご予約後、当日紹介状を持参ください。胃カメラはかかりつけ医の先生のご予約後、直接検査が可能です。

予 FAX (06) 6441-0512 **かかりつけ医の先生専用**

地域医療

病診連携を推進し、地域医療施設とのコミュニケーションを図りつつ、在宅ケア活動を実施しています。

地域医療連絡室 TEL (06) 6441-5451 (内線2158、2159)

患者さんの治療・療養が円滑に施行・継続されるよう、「かかりつけ医」との連携を深めています。

療養福祉相談室 TEL (06) 6441-5451 (内線2140)

患者さん、ご家族の抱えておられる問題点や不安を早期に解決し、在宅医療や看護を支援するため、地域医療施設や訪問看護ステーションと連携を取り合っています。
退院後の療養施設の紹介や、介護支援もおこないます。また、医療費の相談や福祉制度のご案内もおこなっています。

スポーツ医学センター

問 (06) 6441-5451 (内線3101)
月・火・金・土 9:00～17:00
水・木 9:00～20:30
E-mail: spocen2005@okn.gr.jp (随時受付可)

健康増進や病気予防を目的とした一人一人に適した運動を、個別に指導いたします。
安全で効果的な運動を、楽しみながら継続できるように、工夫を凝らしています。

申 完全予約制。センター受付にてあらかじめ、ご予約をおとください。

人間ドック・脳ドック・肺がんドック

問 ドック相談室
TEL (06) 6441-5451 (代)

生活習慣病やがんなどの早期発見・早期治療、発症の予防に役立ち、より健康的な生活をしていただくことが目的です。二日ドックと一日ドックがあります。

申 医事課 **TEL (06) 6441-5451 (内線2144)**

問 は問い合わせ **申** は申し込み **予** は予約先を表しています

NICU (新生児集中治療室)

問 NICU当直医
TEL (06) 6441-5451 (代)

24 時間体制で、新生児の集中治療を行っています。他医療機関からの母体搬送や、新生児搬送入院にも対応し、地域周産期救急医療の一翼を担っています。

産科オープンシステム

かかりつけ医の先生専用

地域診療所・助産所のシステム登録医 (かかりつけ医) と当院が密接に連携して、当院にて出産を取り扱い、お産の安全性を高めるシステムです。

女性医師外来

問 医事課
TEL (06) 6441-5451 (内線2161)

女性の方は女性医師による診察を受けることができます。

(診察日) 毎週水曜日 (受付時間 8:30～11:30)

(診療科) 内科、産婦人科、小児科

(受付窓口) 医事課初診窓口 (①番窓口)

なお、女性医師の出張・異動等により、女性医師外来を休診している場合がありますので、ご了承ください。

申 当外来をご希望の女性患者さんは、医事課受付でその旨をお申し付けください。

乳がん検診

問 乳腺・内分泌外科外来
TEL (06) 6441-5451 (内線2271)

乳がんの早期発見にお役立てください。

(検診日) 毎月第 4 水曜日の午後 1:00 と 3:00、

毎週木曜日の午後 4:00

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)

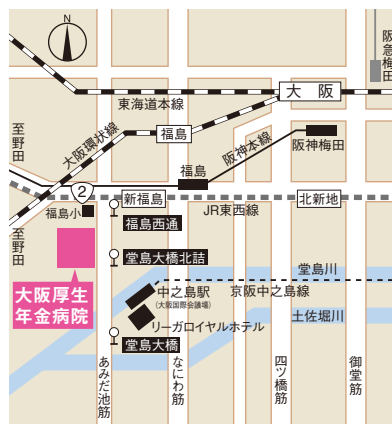
女性がん検診

問 産婦人科外来
TEL (06) 6441-5451 (内線2279)

女性医師、女性スタッフによる乳がん・子宮がんのセット検診です

(検診日) 毎週金曜日 午後 2:00～午後 3:40

申 完全予約制。院内にある申込用紙で直接お申し込みされるか、お電話で予約センター TEL (06) 6441-5451 (内線 2153) まで事前にお申し込みください。(受付時間 平日 午後 2:00～5:00)



交通のご案内

- JR東西線
「新福島駅」下車 (出口③)、徒歩約5分
- 大阪環状線
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 阪神電車
「福島駅」下車、徒歩約10分
- 京阪中之島線
「中之島駅」下車 (出口①)、徒歩約5分
- 市バス
大阪駅前 55 → 「堂島大橋北詰」下車すぐ
大阪駅前 56 → 「福島西通」下車、徒歩5分
大阪駅前 53 → 「堂島大橋」下車、徒歩5分
- タクシー
「大阪駅」より約10分

大阪府「男女いきいき・元気宣言」登録事業者／「働きやすい病院」認定病院 (第1号)／「につけ子育て支援大賞受賞」女性のチャレンジ支援賞 (内閣府) 受賞



地域医療支援病院 日本医療機能評価機構認定病院/大阪府がん診療拠点病院
大阪厚生年金病院 信頼に応える医療

〒553-0003 大阪市福島区福島4-2-78

TEL (06) 6441-5451 (代表) FAX (06) 6445-8900

<http://www.okn.gr.jp/> E-mail: hs_oosaka@kjp.or.jp

この広報誌に対するご意見・ご要望は郵送かEメールで広報誌委員会宛まで